

問1 水よう液には、どのような特 徴がありますか。

1. 2つの層に分かれている 2. すき通っている 3. 白くにどっている 4. あわが出ている

問2 ろ過をするときに、ろうとはどのような目的で使いますか。

1. 液を加熱して蒸 発させるため 2. 液の重さを正確にはかるため 3. 液を安全に注ぎ入れるため 4. 液の体積を細かくはかるため

問3 液体の体積を正確にはかるために使う、目盛りのついた細長い器具は何ですか。

1. メスシリンダー 2. ピーカー 3. 丸底フラスコ 4. 蒸 発 皿

問4 水に溶けていない粒をろ紙に通したとき、粒がろ紙の上に残るのはなぜですか。

1. ろ紙には目に見えない小さな穴があいており、溶けていない粒はその穴を通れないから。
2. ろ紙の表面にのりがついていて、溶けていない粒がくっついて動けなくなるから。
3. ろ紙を通るときに、水に溶けていない粒がすべて水に溶けて見えなくなるから。
4. ろ紙が水に溶けていない粒をすべて吸い込んで、消してしまうから。

問5 水にものをとくとき、水の量を2倍に増やすと、ものが水にとける量はどのようにになりますか。

1. とける量は変わらない 2. ものはまったく水にとけなくなる 3. とける量は減る 4. とける量も増える

問6 電子てんびんを使ってものの重さを正しくはかるとき、何も載せていないときの表示を何gに合わせますか。

1. 1g 2. 10g 3. 0g 4. 100g

問7 温度を上げてつくったミョウバンの水溶液を冷やすと、なぜミョウバンのつぶを取り出すことができるのですか。

1. 温度が下がると、水がすべて蒸 発してなくなってしまうから
2. 温度が下がると、水にとけることができるミョウバンの量が減るから
3. 温度が下がると、水にとけることができるミョウバンの量が増えるから
4. 温度が下がると、ミョウバンが水の中でとけて見えなくなるから

問8 水の温度を高くしたときに、水にとける量が非常に大きく増える特 徴をもつ物質はどれですか。

1. ミョウバン 2. 食塩 3. 砂 4. プラスチック

問9 決まった量の水に食塩などをとけていくとき、これ以上とけなくなる限界のことを何といいますか。

1. とける量の限度 2. とける速さの限界 3. 水の重さの限界 4. とける温度の限度

問10 水の温度を高くしたときに、水にとける量が大きく増える性質をもつ物質はどれですか。

1. ホウ酸 2. 食塩 3. 砂 4. 鉄

問11 食塩水とは、どのような液体のことですか。

1. 食塩が水に溶けた水溶液 2. 砂糖が水に溶けた水溶液 3. 食塩が油に溶けた液体 4. 食塩が溶けずに底にたまっているだけの泥水

問12 1mL（ミリリットル）の水の重さは、何g（グラム）ですか。

1. 1g 2. 10g 3. 100g 4. 1000g

問13 メスシリンダーに水を入れたとき、液面は少し曲がっていますが、目もりを合わせる正しい位置は液面のどの部分ですか。

1. 液面のいちばん高いところの面 2. 液面のへこんだところと高いところの真ん中の面 3. 容器のふちについた水滴の面 4. 液面のへこんだところの面